

# 議会だより

【発行】永平寺町議会 【編集】議会広報特別委員会

## 6月定例議会・8月臨時議会



プール遊び 松岡東幼稚園

もくじ

議長・副議長ごあいさつ	2	議員紹介	5
議会構成	3	予算特別委員会報告	7
6月定例議会報告	4	一般質問	8

議長・副議長就任のめいり

## 行動する議会



町民の皆様  
におかれま  
しは益々ご健  
勝のこととお  
慶び申し上げ  
ます。また日

頃より町議会に深いご理解を賜り厚く御  
礼申し上げます。

この度の臨時議会におきまして、議長  
に選任され、誠に光栄であり、責任の重  
さを強く感じております。

現在の社会情勢、経済状況、特に地方  
は、明らかに厳しくなってきました。  
これからの地方自治体は、将来を見据え、  
今、本当に必要な時代にあった事業・施  
策は何かを見極めながら、バランスのと  
れた住民感覚・住民本位の議会が求めら  
れていると強く思っております。

私は、議長として「監視する議会」は  
もとより「提案する議会」「開かれた議  
会」「行動する議会」の三つを議会で協  
議し、進めていきます。

まず「提案する議会」ですが、行財政  
改革を進めるうえでも、予算などの重要  
事項に対し、事前に議会からの意見、考

議長 河合 永 充

えを決議案としてまとめ、可決し、  
行政に示していきたいと考えています。  
次に「開かれた議会」ですが、現在は、  
ケーブルテレビでの本議会の放送、議会  
だより、議会と語る会等を行っています。  
さらにケーブルテレビ、インターネット  
を活用し少しでも、町民にわかりやすい  
透明で信頼される、身近な議会を目指し  
ていきたいと考えています。

最後の「行動する議会」ですが、各議  
員が調査研究、公聴会など直接出向き、  
多くの町の人と意見を交換できる仕組み  
づくりを行っていき、多くの方と接し、  
町民目線で、町民の代弁者としてより一  
層、議会で発言できる環境をつくってい  
きたいと考えています。

若輩者ではございますが、町民のこと  
を第一に考え、議員各位と活発に議論・  
協議しながら民主主義を基本に、永平寺  
町議会発展、ひいては永平寺町発展のた  
め力強く進めて参ります。

町民の皆様の尚一層のご指導ご鞭撻を  
賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶  
といたします。

## 副議長就任に当たり



議長 酒井 要

副議長に就任致しました。今後  
二年間よろしくお願い申し上げます。  
就任に当たり思いを申し上げます。  
副議長は議長を補佐し、ス  
ムーズに議会運営ができることに

心がけることと思います。特に副議長は議会運営委員の委  
員長となることから、議会が順調にまた正常な議論ができ  
るように努めたいと思います。議会改革委員会も設置され  
ましたので、今後は開かれた議会にするためにも、町民の  
もとへ議会が出向き町民の声（意見）を聞くこと、また議  
会はどの方向に進んでいるのかを検証していくことが私の  
仕事だと認識しており、就任した時の初心を忘れず職務に  
徹したいと思っております。



## 議 会 構 成

### 議 長 ・ 副 議 長

議 長	河 合 永 充	副 議 長	酒 井 要
-----	---------	-------	-------

### 常 任 委 員 会

◎委員長 ○副委員長

総 務 常 任 委 員 会	教 育 民 生 常 任 委 員 会	産 業 建 設 常 任 委 員 会
◎伊 藤 博 夫	◎金 元 直 栄	◎多 田 憲 治
○渡 邊 善 春	○長 岡 千 恵 子	○小 畑 傳
齋 藤 則 男	上 坂 久 則	滝 波 登 喜 男
川 崎 直 文	松 川 正 樹	原 田 武 紀
長 谷 川 治 人	酒 井 要	川 治 孝 行
河 合 永 充	上 田 誠	竹 澤 一 敏

### 議 会 運 営 委 員 会

◎酒 井 要	○伊 藤 博 夫	小 畑 傳
金 元 直 栄	齋 藤 則 男	長 岡 千 恵 子
多 田 憲 治	渡 邊 善 春	

### 特 別 委 員 会

#### ◆予算特別委員会委員

◎齋 藤 則 男	○川 崎 直 文	外 議 長 を 除 く 15 名
----------	----------	------------------

#### ◆議会広報特別委員会委員

◎松 川 正 樹	○長 谷 川 治 人	小 畑 傳
滝 波 登 喜 男	金 元 直 栄	長 岡 千 恵 子
原 田 武 紀	川 崎 直 文	伊 藤 博 夫
上 田 誠	河 合 永 充	

#### ◆議会改革特別委員会委員

◎滝 波 登 喜 男	○上 田 誠	小 畑 傳
金 元 直 栄	齋 藤 則 男	長 岡 千 恵 子
原 田 武 紀	松 川 正 樹	河 合 永 充

#### ◆行財政改革特別委員会

◎上 坂 久 則	○川 治 孝 行	川 崎 直 文
多 田 憲 治	長 谷 川 治 人	竹 澤 一 敏
渡 邊 善 春	伊 藤 博 夫	酒 井 要

#### ◆温泉利活用特別委員会委員

◎多 田 憲 治	○渡 邊 善 春	外 議 長 を 除 く 15 名
----------	----------	------------------

### 組 合 議 会 議 員

#### ◆五領川公共下水道事務組合議会議員

小 畑 傳	長 岡 千 恵 子	原 田 武 紀
渡 邊 善 春		

#### ◆福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員

河 合 永 充	酒 井 要	川 治 孝 行
川 崎 直 文		

#### ◆こしの国広域事務組合議会議員

滝 波 登 喜 男	齋 藤 則 男	上 坂 久 則
竹 澤 一 敏	松 川 正 樹	

#### ◆勝山・永平寺衛生管理組合議会議員

多 田 憲 治	長 谷 川 治 人	伊 藤 博 夫
---------	-----------	---------

#### ◆福井県後期高齢者医療広域連合議会議員

河 合 永 充
---------



まもなく落成・松岡小学校体育館

平成22年  
第3回

# 6月定例議会報告

先の6月定例議会において、行財政改革を推進し、本町の輝かしい将来を見据えた政策を展開するため、政策的事業や新規事業を中心とした、いわゆる「肉付け予算」として総額3億1,864万8千円の一般会計補正予算（第1号）を議決いたしました。

多様化する住民ニーズに対応した、活気あるまちづくりを推進するため、町の総合振興計画のテーマである「うるおい・やすらぎ・人がきらめくまち」に沿うように、メリハリのある事業を中心に新規15事業、拡充14事業が補正予算の主なものとなっています。

主なものは以下のとおりです。

## 平成22年度6月補正予算における主な政策（個表）

（単位：千円）

振興計画項目		振興計画に係る町の政策	予算措置	担当課
<b>■ 健康で笑顔に満ちたまちづくり</b>				
健康づくりの支援	新規	健康福祉施設整備アドバイザー委託業務	3,675	健康福祉施設整備室
子育て少子化対策の推進	拡充	インフルエンザ予防接種助成事業（1歳～中学校修了まで）	3,814	福祉保健課
	新規	イベントキッズナーサリー事業	960	子育て支援課
小計			8,449	
<b>■ 健やかに育ち、心豊かな人づくり</b>				
学校教育の充実	新規	松岡小学校体育館落成記念事業	571	学校教育課
学校施設の改修	拡充	松岡小学校校舎改修工事	18,022	学校教育課
	新規	松岡小学校グラウンド改修実施設計業務	1,538	学校教育課
	新規	松岡中学校特別教棟トイレ改修工事	11,798	学校教育課
生涯スポーツの推進	拡充	永平寺河川公園進入防止柵設置事業	1,785	建設課
小計			33,714	
<b>■ 快適で便利性の高いまちづくり</b>				
公共交通体系の整備と利用促進	拡充	永平寺線跡地遊歩道整備及び永平寺口駅周辺整備詳細設計業務	85,000	企画財政課
小計			85,000	
<b>■ にぎわいのある活力豊かなまちづくり</b>				
商工業の振興	拡充	わがまちにこここ買い物支援事業	9,900	商工観光課
農商工業の振興	新規	永平寺農商工ブランド発信協議会補助金	5,100	農林課
観光の振興	新規	永平寺町魅力発信事業（季刊福楽からの情報発信）	357	商工観光課
小計			15,357	
<b>■ 計画の推進にむけて</b>				
行政運営の充実（行政改革の推進）	新規	松岡福祉会館解体工事	27,510	監理課
小計			27,510	
<b>■ 緊急雇用創出事業</b>				
緊急雇用創出事業	新規	〈町の実施する6事業〉 ①家屋データ現地確認作業業務 ②祖跡コース草刈整備事業 ③えちぜん鉄道沿線環境美化業務 ④道路台帳統合業務 ⑤登校支援員配置事業 ⑥町内史跡維持管理業務	10,133 2,210 24,042 63,063 1,875 2,500	税務課 商工観光課 建設課 学校教育課 生涯学習課
小計			103,823	
合計			273,853	



# 18人で頑張ります

## 8月より新スタートのメンバーです



**金元 直栄**

抱負…くらし、福祉、教育を第一に、暮らしやすい町をめざして、今まで同様、表も裏もなく、住民のみなさんの思いと共にありたいと思っています。  
趣味…山歩き、写真、スポーツなど



**滝波 登喜男**

抱負…地球環境問題や少子高齢化、財政赤字など、「大変な時代」だからこそ、大切なことは、町政に対してみんなが無関心にならないこと。「変える勇氣、続ける根気」で頑張ります。



**小畑 傳**

抱負…議員としての初心を忘れず、これからも広く町民の声を聞き、町民の目線で思考・行動して頑張ります。「人間（じんかん）万事塞翁が馬」  
趣味…音楽鑑賞・バスケットボール



**原田 武紀**

抱負…昨年と今年実施した区長会の皆様との「議会報告会」を、町民の皆様との直接対話に深度化して、少しでも町民の意思に沿った町づくりを実現するために、全力を傾注する決意です。



**長岡 千恵子**

抱負…OL時代に修得したことは、「分刻みのスケジュールを消化する」「いつも元気でハツラツとしている」「意見ははっきり言う」「言った事は行動する」ことです。女性らしい感性と視点で行動します。  
趣味…旅行



**齋藤 則男**

抱負…基本理念は、「一生懸命」住んでいてよかった、住んでみたい町の実現に、柔軟な思考で新しい町づくりの原動力になって行きたいと考えています。  
座右の銘…「努力に勝る敵はなし」



**多田 憲治**

抱負…この厳しい経済情勢の中、特に若者の雇用また、すみずみまで均衡のとれた地域の発展を望む。  
趣味…見知らぬ町への旅行 家庭菜園



**川崎 直文**

抱負…安心していきいきと暮らせるまちを目指して、皆様のご意見をいただき、現場・現状をしっかりと見、改めるべき事を明かにします。そしてスピーディに実行します。  
趣味…釣り（昨シーズンより鮎釣りを始めました）



**川治 孝行**

抱負…数年来、中部縦貫道路、機能補償道路の早期着工と完成に向け鋭意努力して参りました。今後とも沿線集落の要望事項が一つでも多く実現できるよう地域の協力の下に頑張つて参ります。  
趣味…バレーボール



上坂 久則

抱負…町政は町民の為に、目線は町民の立場で、議員活動の行動規範として努めます。現場主義・町民との対話を通し、ご意見・ご指導をいただき、福祉を中心に活動派議員として頑張ります。



竹澤 一敏

抱負…町民の目線に立ち、公平公正にその権限を行使し、利害のあい反する問題や意見の対立する問題等については、一部の人の利害ではなく、町民全体の利益について考え、行動・発言し判断していきたい。



長谷川 治人

抱負…選挙期間中に賜った支持者の皆様への「頑張ってください」の声援を真摯に受け止め、初心を忘れず皆様と心一つになり健康で安心して暮らせる町づくりに努めます。  
趣味…今は盆栽に水やり



松川 正樹

抱負…二十六歳の時、初めて選挙に挑戦した時のキャッチフレーズは「若さと情熱と行動力の松川」でした。若さは取り返しがつきませんが、情熱と行動力はますます盛んなつもりです。  
趣味…コーラス、映画



伊藤 博夫

抱負…新たな気持ちで永平寺町発展のため十分に議論し合い、野球で鍛えた精神力、行動力での魅力あるまちづくりと町民の幸せを第一に頑張つてまいります。  
好きな言葉…一生懸命  
趣味…運動



渡邊 善春

抱負…町民中心に考えた町議会のあり方  
●笑顔がたえない町づくり  
●十年、二十年先の町の姿  
●歴史と文化を守り、町民がよるこんで住む永平寺町  
趣味…山登り



上田 誠

抱負…「議会は住民のものを」を基本に、地方自治や議会のあり方と役割を明確にし、変革とそして町民に開かれた議会、関心を寄せてくれる議会を目指し「一意専心」頑張らせていただきます。



河合 永充

抱負…将来を見据え、バランスのとれた町づくりのため、初志を忘れず客観的な見かたのできる町議会議員として、がんばっていきます。  
趣味…古武道、ソフトボール  
映画鑑賞



酒井 要

抱負…私は町民と行政との間のパイプ役に徹する。特に弱者(障がい者、高齢者、子ども)等住みやすい町にしたい。農業、商業、工業の発展にも意欲をもつて努力したい。  
趣味…一人旅、今はパンフレットで楽しんでいきます。

### 平成22年 第4回永平寺町議会定例会開会

日 程	7日・8日・9日	一般質問
	9日・10日	予算特別委員会
	13日・14日	各常任委員会
	3日・14日・15日・16日	議案審議

場 所 本庁役場3階 議場

※日程などについては、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(議席順に掲載)

# 予算特別委員会報告

予算特別委員会

副委員長 齋藤 則 男

六月三日開会の六月定例議会の本会議において、当委員会に付託されました平成二十二年の補正予算案は、六月十日、十二日の二日間にあたり予算特別委員会を開催し、慎重に審議し審査をいたしました。その結果、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

歳入歳出総額、三億一八六四万八千円を増額する、平成二十二年度永平寺町一般会計補正予算は、行財政改革さらに推進し、永平寺町の輝かしい将来を見据えた施策を展開するために、多様化する住民ニーズに対応した活気あるまちづくりを推進するための予算として提案され、当初予算と合わせて、三十六の新規事業、二十の拡大事業の政策的な事業予算となっております。主な内容は、防災対策として、松岡地区の同報防災無線の整備計画策定費四〇〇万円、京福線跡地の遊歩道整備の第一期工事費六六四〇万円、役場本庁舎の耐震診断二四〇万円、松岡福祉会館の解体工事費二七五一万円、緊急雇用事

業を活用した家屋データの現地確認業務費一〇二二万円、インフルエンザ予防接種の拡充として一歳から十五歳の子どもたちにも実施するため三八一万円の増、新製品の開発日夜チャレンジする企業を支援する事業費二五〇万円、商工会プレミア買い物券の補助九九〇万円、祖蹟コースの整備費二二一万円、永平寺ブランドの推進を図るための「産業フェア」の開催等に五一〇万円、学校校舎改修工事費一九一一万円等の補正予算であります。

この補正の中、健康福祉施設（温泉）アドバイザリー業務委託料三六七万五千円が計上された件は、議会で議論を尽くされていない、改選後の新議会で議論し判断するまで凍結すべきとの意見もあつたが、理事者側から、この予算の執行については、議会と十分協議し執行するとの旨の回答があり、短日間ではあつたが、それぞれ集中的に審議を尽くし、賛成多数で決定されたものであります。

## ちょっとトピックス あなたならどうする?!

### 議員バッジは、着用すべきか？ 否か？

議員バッジは初めて議員となった時、「議員必携」という本とあわせて、支給されますが、実態は身につける人、つけない人いろいろです。特に暑い時期は上着を着用しないので、つけていないのが多いようです。

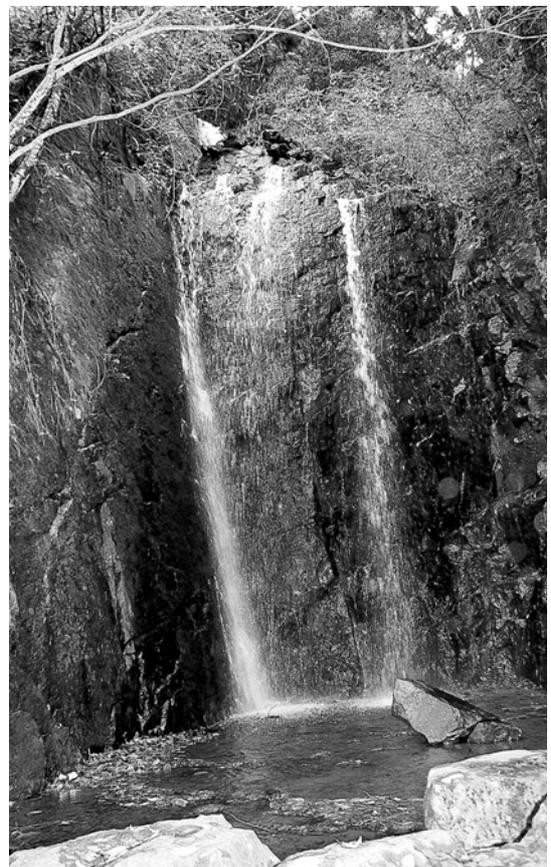
かねてより、私どもの中で議論がありましたが、8月の全員協議会でも、議員バッジをつけて、本会議場に入室すべきか否かの論議がありました。

意見は、概ね3通りに分かれました。町民への重い責任からバッジを着用すべき。各議員の判断に任せべき。権威の象徴、政治的信条で着用したくないなどです。

国会では、身分証の代わりにバッジを着用していないと、本会議場に入場できないという着用の義務がありますが、地方議会では会則等で決めないかぎり、義務はありません。

いろいろな意見がありますが、今回議員バッジ着用にとどわる議員からの発言で、熱い議論になりました。

町民の皆さん、どう思われますか。



涼しさを感じる玲瓏の滝（大本山永平寺）

## 6月定例議会

## 一般質問

平成22年度第3回定例会において、12名の議員が町政治全般について一般質問を行いました。質疑と答弁は次のとおりです。  
一般質問は議事録にもとづき質問議員がまとめています。



小畑

議員

## 納戸坂の開発は

**小畑** 人口が二万人を切ってしまい、

今後二万人前後で推移するかと思  
います。その様な中、地域間競争で  
遅れを取ることは許されません。そ  
のためには地理的条件や環境条件な  
ど恵まれている所を全面に出す必要  
があると思います。そこで吉野地区  
ですが、県都福井市に一番近いにも  
かかわらず袋小路のような状態で学  
校の児童数を見ても伸び悩んでいま  
す。私は福井市との接点である、納  
戸坂の開発をいそがなければ、吉野  
地区の発展が見えないと思います。

## 建設課長

納戸坂線は平成十六年度  
から遺跡調査などに着手し、平成二  
十一年度まで五ヶ年をかけて町施工  
部分が完成しました。今後とも早期

着工にむけ土木事務所や福井市と協  
議を進めたいと思います。

**町長** 今県の考え方は稲津松岡線バ  
イパスを早くやり、二十五年度の供  
用開始を目指しています。今年も町  
では四億円ほどの事業を予定し、バ  
イパスや荒川改修などを見ながら県・  
福井市との協議を進めていきます。

他に「新資料館の運営は」と「河川  
公園のメンテナンス」を質問。



町道吉野74号線（納戸坂線）



原田

議員

松岡越坂地区入口道路の拡幅  
整備。何とかできないのか

**原田** 標記の件は、「区長と議会の  
懇談会」で、毎年かならず出てくる  
要望である。六階建ての町営高層ア  
パートも建設され、災害時には、消  
防ハシゴ車等、大型車の通行問題も  
課題である。何とか解決できないのか。



越坂交差点

**町長** 私も交差点改良が最善策だと

思っています。県道所管の県へは毎年要望していますので、県も必要性は理解しています。家屋の移転問題の課題はありますが、打開策を検討しながら、今後も県への要望を強める等、精力的に取り組んでいきます。

「公的資金補償金（借金の金利分）免除の繰上償還措置の三年間延長の活用はしないのか。」「松岡福祉会館解体後の跡地活用策は!!」も質問しました。



竹澤 一敏 議員

**轟・飯島地区中部縦貫自動車道・機能補償道路工事対策委員会の設置による効果は**

**竹澤** 地域振興の一環として、標記の委員会が両地区合同で設置された。委員会がなかったときと比べ、県や町における地域に対する協力体制は

どのようなになっているか。

**建設課長** 当地区では昨年より山林の境界確認を実施し、今年も筆界確認書の押印作業を開始しています。対策委員会の協力を得ながら境界もほぼ確定し、用地買収に向けた交渉へ大きく前進しているところです。

**公共施設を利用する視覚障がい者等の対応について**

**竹澤** 公共施設の窓口で、職員への対応等、町の方針はどうなっているか。

**福祉保健課長** 障がい者の来庁に際しては、状況に応じ窓口職員が対応していますが、施設によっては、窓口から玄関が見えないところもあり、安心できるような対応ができるようにと指導しているところです。



**福井国体に向けて**

**河合** 競技開催の誘致に向けての取り組みは。

**生涯学習課長** 施設の調査等を行い、県に希望していきます。

**県立大学・福大医学部と特色ある交流を**

**河合** 各大学との交流、特色がないように思うが、町はどのように考えているか。

**企画財政課長** 地域的な特徴を生かして、相互協力による町づくりを構築していきたいと考えています。町、町内の企業者、大学が相互に交流する産学官連携も図りながら、地域経済の活性化を高めていくよう努めていきたい。



河合 永充 議員

**これからのまちづくりに必要なこと**

合併して二万人、十年後に二万四千人のはずが、ついに二万人を割ってしまった。人口増のペースが人口減に。人口増作戦が全く見えていない。人口はパイの奪い合い。要はどれだけ魅力的なまちづくりをするにかにかかっている。もう少し本気になってほしい。

志比北小の児童数が四年後には三十一人になるといふ。それでも統廃合しないというなら、区画整理や宅地開発を町の手で実施すべきで、小手先の教員の確保では問題を先送りしているだけということになる。吉野や御陵地区の成功例を生かしてほしい。



松川 正樹 議員



上坂 久則  
議員



解体が決まった福祉会館 (松岡)

これからのまちづくりの手法として、意図的に計画的にぎわいのある核づくりが不可欠。旧上志比や旧永平寺には、それに近い計画があるが、松岡には全くない。松小体育館の建設や松岡公園の整備では、中心的な核づくりになるはずがありません。

議員として町民の皆様から委嘱された四年間、公約に掲げた事項、議員活動理念を念頭に質問してきました。福祉とは何ぞや、町民一人ひとりの幸福たる生活体感の実現のために、為政遂行に邁進することが議員活動へ課せられた任務と確信し、今回も、生活実感・安心できるソーシャルコミュニティ創りへの視点から次の四点を質問しました。

- ① 不況の土木業界（永平寺町内業者）の受注方策と分離発注の考え方について
- ② 永平寺ブランド創生・強化のため、具体的な方策と現況について
- ③ 健康施設（永平寺温泉）の進捗状況を問う
- ④ 独居・老々世帯の増加等の現況と対策について

松本町政の根源である「永平寺町全体の隅々までに至る均衡ある発展」マニフェスト遂行の実現化及び町長の信念を感じました。



小玉 益雄  
議員

町長の要望等の対応の仕方について

**小玉** 町民の代表である区長さんからの要望等と議員からの要望について、行政の対応の仕方に違いがあるのではないかと。

**総務課長** 要望については早急に対応できる事項、調査を必要とするものと、予算を必要とする場合等がありますので、区長さんと連絡をしながら要望に応える対応をしています。

学校給食の統合を考えては

**小玉** 上志比の給食センターの能力を考え、他の学校との併合を考えては。 **学校教育課長** 合併当時話が出たことがありましたが、実施に向かっての協議は行っておりません。

**教育長** 給食センター方式については、いろいろな問題がありまして、財政的な考えもありますが、できることなら現在の自校方式でお願いしたいと思います。



中学生の海外派遣出発式



齋藤 則男  
議員

永平寺町のまちづくりについて

**齋藤** 町長は、これからの、この永

行政による、地域に合った  
振興策の提案を



金元 直栄  
議員

これからのまちづくりの中で、計画的な町道整備ができないものか、農業後継者の育成等、積極的な町の農業施策について、そして、雇用、消費拡大による経済の活性化等、商工業の振興策についても、それぞれ担当課長に質問をいたしました。

平寺町をどのような町にしたいか、その構想というか、率直なそのお考え、お気持ちをお尋ねいたします。  
**町長** 永平寺町の持ち味といえますか、非常に優れた点がいくつかあります。大学、大本山永平寺、福井市に近い立地条件、そういう中で、人口の減らない町をどのようにしてつくるかということが一番大きな課題であると思っています。

**金元** 本来なら、地域の振興策は地域の自治組織が考えるべきだが、自治組織の育成も取り組まれていない状況下では、行政による、積極的な働きかけは重要だ。

旧松岡では、清流地区等と行政がかかわった宅地開発が多い。現在、人口減や子どももの減で悩んでいる地区の人々へ、行政による働きかけは緊急の課題だ。

**企画財政課長** 人口増対策は最も重要な施策の一つです。松岡地区では都市計画法に基づく清流地区等の開発を行ってきたことは、大きな成果がありました。

今後、地域振興や活性化を図るため、住民の協力を得ながら共に考えたいと思っています。

他の質問項目は、②奨学金制度の創設で、学びへの支援を。③公共事業はできる限り町内の業者へ。④介護保険での生活支援を。⑤温泉問題。



男女共同参画

**上田** 推進に当たっては委員会の活動と、地域を巻き込む運動体制が重要。また、同宣言都市は町内外に意思表示と今後の方向性を約束するもの。地域の活性化につながる柱の一つとすべきである。

男女共同参画社会の実現に向け、推進の充実と拡大で地域の活性化を!!



上田 誠  
議員

**町長** 男女によるネットワークを新たに設立し、活動の推進を図っている。宣言都市の事業を機会に、気運を高め町全体に浸透するよう体制づくりを図り、男女共同参画社会を推進する。

その他の質問として、「農家への戸別所得補償モデル対策は万全を!!」「地域力のアップとなる『わがまち自慢のふるさと大賞』や『産業フェア』事業の充実と発展を!!」「永平寺口駅周辺整備計画、京福線跡地整備計画は、住民とともに意向や要望に沿ったものに!!」を質問しました。



滝波 登喜男  
議員

温浴施設建設について

**滝波** 区長さんとの懇談会で、温浴施設の意見が多数出された。上志比地区の「もっと早く、もっと充実して」に対し、松岡・永平寺地区では



永平寺温泉の源泉場所

「町財政上心配だ。もっと町民の意見を聞いて」というものであった。町の認識と違いがあるのでは。

**町長** それぞれの地域のこれまでの考え方があり、それを大事にしなければならぬ。四年間かけて三地域の区長会や老人会、女性団体等に説明をし、ご理解いただいています。

**滝波** 将来の町財政を思うと、本当にやらなければならないことがまだあるのではないかと。

**町長** すばらしい泉質の温泉を利用して、町民の皆さんが健康で明るい生活を送っていただくことは非常に

大事であります。どんな事業でも、負担がなければ仕事は前に進みません。

他の質問は、『景気低迷の中、地元業者育成をどう考えているのか。』『県立大学前県道の交通渋滞解消を』です。



伊藤 博夫 議員

**ふるさと納税額と、その使われ方は**

**総務課長** 平成二十一年度ふるさと納税額については、六十万四千五百円の十九件であり、永平寺町まちづくり基金に積み立てをしております。

**人口二万人割れにならない  
方策は**

**企画財政課長** 「えいへいじ3人っ子」すくすく応援事業等や学校教育の充

実によるソフト面の充実、生活道路を初めとする道路網の整備、宅地開発、企業誘致等のハード面の整備など積極的に取り組んでまいります。

**永平寺町地域新エネルギー・省エネルギービジョンについて**

**環境課長** 地球環境の保全を基本目標に地域温暖化対策をするためエネルギーの増加、化石燃料資源の枯渇、温室効果ガス排出量の増加、地球温暖化による異常気象の発生であり、これら早急なる対策が必要とされております。



**編集  
後記**

今回改選を機に、議会だより編集のメンバーが十一名に増えパワーアップし、ケーブルテレビのさらなる有効活用も仕事に加え、議会広報特別委員会として生まれ変わりました。

新人議員からの厳しい意見からも、紙面刷新の必要性を痛感し、徐々にですが、大胆な変更を実行するつもりです。とにかく住民のみなさんが手に取っていただくため、かつ読んでみたくなる紙面づくりです。そのためには私達自身が研修に励み、全委員が真剣に相談、議論し、全国の優秀な議会だよりに負けないものを目指ししかありません。しかし、いいものをつくるためには、また税金のムダ使いに終わらせないためにも、住民の皆さんの率直なご批判も不可欠です。素直に耳を傾けますので、どうかいろいろとご忠告くださいませ。お願いします。(松川記)

**議会広報特別委員会委員**

- 委員長 松川 正樹
- 副委員長 長谷川 治人
- 委員 伊藤 博夫・小畑 誠傳
- 金元 直栄・上田 誠
- 河合 永充・川崎 直文
- 滝波登喜男・長岡千恵子
- 原田 武紀

議会の情報を永平寺町のホームページで見ることができます

アドレスは

<http://www.town.eiheiji.jp>

(永平寺町役場)

(住民サービス) ↓ (行政情報・議会) ↓

(議会からのお知らせ)